

令和 8 年度 学生募集要項 (二次募集)

出願期間	選抜期日	合格発表
令和 8 年 2 月 1 3 日 (金) ～ 2 月 2 4 日 (火)	令和 8 年 2 月 2 7 日 (金)	令和 8 年 3 月 3 日 (火)



独立行政法人国立高等専門学校機構
鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田 104

電話 0235-25-9247・9025

<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

1 入学者選抜の基本方針

本校は実践的で創造力に富んだ技術者を養成する5年制一貫教育を特徴とする高等教育機関として、下記に示す「校訓」の下、「基本教育目標」、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）」に掲げる能力を備えた人材の育成を目指しています。

この目標を達成するため、本校では「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」に適合する者を入学者として求めています。

(1) 校訓

「理魂工才」・「自学自習」

(2) 本校（創造工学科）の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

- ・技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者、研究者への夢を抱いている人
- ・学習意欲が高く、数学、理科、国語、社会、英語の基礎力が備わっている人
- ・何事にも粘り強さと責任感を持って積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- ・「ものづくり」に対する専門的知識を身に付けて、将来、課題解決のために活躍するリーダーとなることを志す人

特に、以下のような人が望ましい。

- ・メカトロニクスやロボットなどのものづくり技術を学びたい人
- ・コンピュータが好きで、インターネットの原理やプログラムのしくみ、それらの応用技術に興味のある人
- ・電気製品のしくみや動作の原理に関心があり、電子工作が好きな人
- ・機械のしくみに興味があり、コンピュータによる設計やものづくりの基礎を習得し、良い製品を作りたい人
- ・生命現象に興味・関心があり、人間と生物と環境が調和した豊かな社会づくりに貢献したい人
- ・化学現象に興味を持ち、身の回りにある材料の性質や働きを学びたい人
- ・資源やエネルギーのことを考え、太陽光発電や燃料電池などのクリーンなエネルギーの創造や利用に関心のある人
- ・デジタル技術を用いて技術的課題を解決する構想力と実践的能力を身につけたい人

以上の本校（創造工学科）の入学者受入方針に基づき、入学者選抜を実施します。

2 コース／系の選択

1年次学生は全員、創造工学科に所属します。5つのコース（機械コース、電気・電子コース、情報コース、化学・生物コース、デジタルデザインコース）への配属は2年次進級時に行われます（デジタルデザインコース推薦入学者は除く）。デジタルデザインコースについては、4つの系（機械系、電気・電子系、情報系、化学・生物系）も同時に選択します。コース／系（以下、コース等という）配属は、1年次の学業成績順に学生の希望を聴取して決定されますが、希望のコース等へ配属されないことがあります。

コース定員は、機械コース、電気・電子コース、化学・生物コースが計100名、情報コース40名、デジタルデザインコース20名です。

1年次は、全員が一般科目と各コース等で共通に必要なとされる専門基礎科目を学習します。専門基

礎科目の中には、2年次以降に各コース等で学ぶ専門を概観できるガイダンスに相当する授業科目があります。この科目で1年間かけて各コース等の内容を学習し、担任等からきめ細かい指導・助言を受けるとともに2年次のコース等選択のための説明会に参加して、自分に合ったコース等を慎重に考えることができます。

3 募集学科及び募集人員

募集学科	募集人員
創造工学科	※相当数

※入学定員から推薦選抜及び学力検査選抜の入学予定者を差し引いた数

4 出願資格

調査書の第3学年の数学及び理科の評定がいずれも3以上で、合格の際は本校に入学する意志が強く、次のいずれかに該当する者。

- (1) 中学校又はこれに準ずる学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和8年3月修了見込みの者を含む）
- (3) 義務教育学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む）
- (4) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者）

5 出願手続

出願手続は、WEB出願システムにて志願者情報の入力及び検定料（16,500円）の納入を行う「WEB出願登録」と、WEB出願登録により志願者が発行した写真票、在籍中学校で作成する調査書を本校へ提出する「出願書類提出」で完了となります。なお、WEB出願サイトのURLについては、本校ホームページをご覧ください。

《鶴岡工業高等専門学校ホームページ（学生募集案内）》

<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/nyuushijoho/juken-2/>

※WEB出願に関する手続の流れについては、本校の「令和8年度学生募集要項」4ページ「V出願の流れについて」をご参照ください。

- (1) WEB出願登録受付期間及び出願書類受付期間

令和8年2月13日（金）から令和8年2月24日（火）午後5時まで

受付時間は、平日午前9時から午後5時までとします。

郵送の場合も令和8年2月24日（火）午後5時必着とします。

- (2) 出願書類

出願書類は、次のとおりです。在籍中学校で取りまとめの上、出願書類受付期間内に提出願います。

①写 真 票 【二次募集用】	WEB出願登録完了後に発行される写真票（2部）を切り取ったもの。 顔写真データをアップロードしていない場合は、出願前3か月以内に撮影した4cm×3cmの写真（正面向き上半身無帽無背景）を貼り付けしてください。
②調 査 書 【二次募集用】	本校HPに掲載している様式により、在籍（出身）学校長が作成し、厳封したもの。

注1 宛名票（写真票と一緒に印刷される郵送時に封筒に貼る送り先等）については、在籍中学校に提出してください。在籍中学校は出願書類を郵送する際に適宜ご活用ください。

注2 本校に入学を志願する者で、身体に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前に本校学生課教務係へお問い合わせください。

注3 本校に入学を志願する者で、令和7年度に、その主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、検定料免除の措置を講じます。詳しくは本校ホームページを参照してください。

(3) 出願方法

出願書類等は、在籍学校長を経由し、本校学生課教務係宛に提出してください。

また、郵送の場合は、「入学願書（二次募集）在中」と封筒に朱書きし、必ず「**簡易書留・速達**」としてください。

(4) 出願書類等の提出先

〒997-8511

鶴岡市井岡字沢田 104

鶴岡工業高等専門学校学生課教務係

電話 0235-25-9247・9025

6 出願に関する留意事項

(1) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがありますので、十分注意してください。

(2) 受理した検定料は、次の場合を除き返還しません。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

上記の場合は、本校学生課教務係までご連絡ください。

(3) 出願書類に事実と異なる記載、あるいは不正があったときは、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

(4) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- a) 入学後の教育・指導
- b) 入学料の免除・徴収猶予申請の審査
- c) 自立応援入学支援金申請の審査
- d) 奨学金申請の審査
- e) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

- (5) 出願書類提出後、現住所に変更があったときは、速やかに郵便又は FAX で本校学生課教務係あて届け出てください。(FAX:0235-25-8195)

7 選抜の方法

入学者の選抜は、面接及び調査書を総合判定して行います。

8 面接の日時及び会場

(1) 面接日時

令和 8 年 2 月 27 日 (金) 午前 9 時 30 分～

(受付時間は、午前 8 時 30 分から午前 9 時まで)

(2) 面接会場 鶴岡工業高等専門学校

9 受験票について

在籍中学校からの出願書類の提出が完了すると、出願サイトのマイページから受験票の印刷が可能となります。2月25日(水)になっても印刷できない場合はご連絡ください。

写真をアップロードしていない場合は、写真票と同一の写真を貼り付け願います。

入試当日は、受験票を必ず持参してください。

10 選抜結果の通知

令和 8 年 3 月 3 日(火)に、選抜結果通知書を在籍学校長宛に発送します。

また、午後 2 時に本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話による問い合わせには、一切応じられません。

11 入学手続き

合格者は、令和 8 年 3 月 12 日(木)までに入学手続きを行ってください。

入学手続きは、必要書類の提出及び入学料の納付等になります。必要書類の提出を期限までに行うことが困難な場合等は、速やかに本校学生課教務係(0235-25-9247・9025)へご連絡ください。

なお、期限までに入学手続きをしない者は、本校に入学する意思がないものとして取り扱います。

12 入学後に必要な経費及び奨学金制度等

(1) 学費等

入学料	入学時 84,600 円	制服代	入学時 約 75,000 円
授業料	年額 234,600 円	学生会入会費	入学時 1,000 円
教科書・教材費	入学時 約 70,000 円	学生会費	年額 7,000 円

(2) 入寮者の必要経費

入寮費	入寮時 3,000 円	冷暖房費	月額 4,500 円
寄宿料	月額 700 円	寮生会入会費	入寮時 300 円
運営費(年 10 か月分)	月額 13,000 円	寮生会費	年額 2,400 円
給食費	日額 1,507 円		

※ 3～5年生については、入寮希望者多数の場合、入寮選考を行いますので、希望しても入寮できないことがあります。

※ 料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

(3) 奨学金制度等

① 入学料及び授業料減免制度

1) 入学料免除制度

入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡した場合、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

2) 授業料免除制度

授業料の各期の納付期限前6月以内(新入学生は、入学前1年以内)において、入学する者の学資負担者が死亡した場合、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により授業料の納付が著しく困難であると認められる場合には選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

3) 高等学校等就学支援金制度(本科1～3年生対象)

国立高等専門学校(第1学年～第3学年)の学生で定められた所得判定基準(年収910万円程度)未満の世帯が就学支援金支給の対象となり、月額9,900円(年額118,800円)が支給されます。支給期間は、原則として通算36月です。なお、保護者(学生の親権者)の所得に応じて就学支援金の加算または未支給となることがあります。

また、保護者の失職、倒産などの家計急変により収入が激減した場合、高等学校等就学支援金の支給額に反映されるまでの間、家計急変後の収入状況をもとに算出される就学支援金に相当する額を支給する「高等学校等家計急変支援金制度」があります。

※学生本人(保護者等)が直接受け取るものではなく、学校が学生本人に代わって支援金を受取り、授業料に充当します。

4) 高等教育の修学支援新制度(本科4年生以上対象)

本科4年生以上を対象に、世帯収入が住民税非課税及びそれに準ずる世帯であって、明確な進路意識と強い学びの意欲を持つ学生を対象に、奨学金の給付及び入学料・授業料減免(入学料は専攻科1年生のみ)が受けられる制度があります。

② 奨学金制度

人物・学業共に特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者を対象とした奨学制度として、日本学生支援機構奨学金制度があります。このほか地方公共団体、民間等の奨学金制度があります。

(参考) 日本学生支援機構ホームページ <https://www.jasso.go.jp/>

基本教育目標

- 1 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
- 2 あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造力に富んだ技術者になる
- 3 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
- 4 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）

I. 養成する人材像

多様な価値観と広い視野を持ち、人間性と創造性に富み、基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い実践的技術者

II. ディプロマ・ポリシー

1. 創造工学科のディプロマ・ポリシー

養成する人材像をもとに、下記的能力及び姿勢を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力
- (B) 専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を活用できる能力
- (C) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションができる能力
- (D) 専門分野の知識と情報技術を身につけ、ものづくりに幅広く対応できる実践力
- (E) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理に基づき行動する姿勢

2. コースのディプロマ・ポリシー

機械コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、機械コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 機械工学に関する体系的な知識と技術
- (2) 機械、メカトロニクス、材料工学等の基盤技術
- (3) 機械、メカトロニクス、材料工学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

電気・電子コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、電気・電子コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 電気・電子工学に関する体系的な知識と技術
- (2) エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー等の基盤技術
- (3) エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー技術の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

情報コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、情報コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 情報工学、システム制御等に関する体系的な知識と技術
- (2) ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学等の基盤技術
- (3) ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

化学・生物コース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、化学・生物コースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) 化学、生物学に関する体系的な知識と技術
- (2) 物質・材料、生物学等の基盤技術
- (3) 物質・材料、生物学等の視点に立って社会的な役割を理解し、技術的課題を解決する構想力と実践的能力

デジタルデザインコース

創造工学科のディプロマ・ポリシーに加え、デジタルデザインコースは、その目標とする人材を育成するため、以下に掲げる能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (1) デジタル・リベラルアーツを主軸とした工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかに関する体系的な知識と技術
- (2) デジタル・リベラルアーツを主軸とした機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物学等による基盤技術
- (3) 機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物学のいずれかの視点に立って社会的な役割を理解し、データサイエンス、A I などを用いて技術的課題を解決するデザイン能力と実践的能力